

No.212
2023.11.20

郷土

つながる莊原 笑顔の未来
活かそう 人を 歴史を 資源を

9/25
(月)

さつまいも掘り 自主企画事業

こども倶楽部



待ってたよ!

莊原幼稚園のみなさん! 東部保育園のみなさん!
待ちに待ったこの日がやってきましたよ~!

東部保育園



莊原幼稚園

はーい!!



4カ月前に苗を植えたさつまいもの収穫の日を迎えました。掘り方の説明を聞きながらも、そわそわ、わくわくしている子どもたち。前週に予定していたものの、雨で延期になったこともあって、この日を待ちわびていたことでしょう。張り切って、たくさんのおいもを掘ってくれました!

みんなが収穫してくれたさつまいもは、10月14日・15日で開催された莊原地区文化祭の「こども倶楽部のやきいも屋さん」で地域の方々に届けられました。ほくほく甘いやきいもは、今年も大好評。長蛇の列が出来ていました。



大きい
でしょ!!



まだ
たくさん
あるからね!



きれいな色の
いもだね!

荘原地区 文化祭

10/14 (土) 10/15 (日)

荘原地区文化祭のお礼

昨年度までの3年間は新型コロナウイルス感染症の影響により展示を中心とした文化祭としていましたが、今年度の文化祭は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことやコロナウイルス感染が落ち着いてきたことにより、オープニングセレモニーの開催、地元のお店等の出店を企画しました。

オープニングセレモニーでは、ViVi Dance Kids(ヴィヴィダンスキッズ)4年生の皆さんによる元気いっぱいの踊りの披露で文化祭の開始を大いに盛り上げていただきました。

地元のお店4店の出店、「やまものの会」のオープンカフェやネギ焼き、陶芸クラブの販売、こども倶楽部の焼きいも屋さんなどにはたくさんのお客で大盛況でした。

会場内の展示には、小学生や保育園児の子どもさん連れの若いお父さんお母さんご家族をはじめたくさんの観覧者に来ていただき、和やかな落ち着いた雰囲気文化祭となりました。

今年は二日間昨年よりやや多い千人近い皆様にご来場いただき文化祭を盛り上げていただきました。ありがとうございました。

教室、サークルの皆さん、コミセンの各専門部の皆さん、自治協会の理事の皆さんには数日前から、掃除、物品の移動などの会場準備や、展示、そして当日の運営にご協力いただき素晴らしい文化祭にさせていただきました。厚くお礼申し上げます。

来年もより素晴らしい文化祭になりますよう、今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

荘原地区文化祭実行委員長 渡部 誠治

いっしょに!!



文化祭がはじまるよ~!



すてきな作品がいっぱいね~



10/11 (水)

文化祭前の大掃除

荘原コミセンの教室・サークルのみなさんが文化祭前の大掃除をしてくださいました。また、吹矢指導員の高根俊夫さんに高圧洗浄機を使って、集会室の普段はなかなか手が届かない高所の窓や壁を大変丁寧に掃除をしていただきました。

皆さんのおかげで、きれいで気持ちよくなったコミセンで文化祭を開催することができました。大掃除に参加していただきましたみなさん、大変ありがとうございました。



9/30 (土)

タウンミーティング「どうする荘原」開催

自主企画事業

~20代から80代まで幅広い年齢層の参加者が荘原の現在、未来を考えるために集結~



盛りあげたいね!

いいねえ!



まちづくり部



「タウンミーティング~どうする荘原」に副題としてあげたのは、「自治会ってなに、なんのため、だれのため」です。加入率が激減する自治会ですが、今の荘原の加入率が59.7%ほど。この数年で段違いに凋落しているのは、全国的な傾向です。戦後の高度経済成長以降、科学技術や医療の進歩によって、つながりに頼らなくても生活できる世になりました。一時、潮目が変わったときがあります。阪神淡路大震災(1995年)です。そして東日本大震災(2011年)。私たちは、つながりや助け合いを含めた地域コミュニティの重要性を再認識しました。絆の大切さです。しかし、平穏が戻ってくると思いは風化していきます。

小さな草の根のコミュニティ(自治会)が衰退する……さあ、どうしましょうか、どう考えますか、どう行動すればいいでしょうね、というスタンスでワールドカフェをやりました。荘原コミセンでは初の試みです。遊び心も含めてカフェしながら楽しんでいただきました。

自分の幸福は他者の幸福あつてのものですが、自分だけよければいいとなりがちです。大きな困難が生じたときにレジリエンス(復元する力)を発揮できるかどうかは、人同士の連帯がカギを握ります。人のために力を注げば、それは自ずと自分にかえってくる(情けは人の為ならず)ことを忘れないようにしたいですね。

荘原コミセンまちづくり部 原 史行

10/31
(火)

災対 & 専門部研修 専門部研修報告



10月30日(月)に、昨年に引き続き
荘原地区災害対策委員会研修と専門部
研修を兼ねた研修会を実施しました。
昨年度、島根原子力発電所での研修を
実施したことを受けて、今年度は、原子
力発電所と補完関係にある三隅火力発
電所での研修を企画しました。火力発電所の場合、原子力発電所ほどの
防災対策は必要でないものの、地震による津波、火災、アンモニア等の化
学物質の漏れなどについて、市や近隣自治会と連携した対策
が取られていた。また、USC(超々臨海圧発電)方式を導入す
るなど、CO₂排出量削減への技術的なアプローチが積極的
になされていた。参加者からは、環境への取り込みや石炭火力
の必要性などについてたくさんの質問が寄せられた。

もう一つの研修場所である石州和紙会館では、実際にハガ
キ大の紙すきを体験するなど日本の伝統工芸について研修
した。



10/24
(火)

環境にも手にもやさしい 廃油石けんを作りました!

廃油にEM発酵液、苛性ソーダ、セラミックパウダーを加え、ひたすら混ぜて型(牛乳パック)に
入れて廃油石けんを作りました。

EM発酵液は米のとぎ汁にEM菌を入れ、1週間くらい発酵させたものです。

「やまももの会」で作る廃油石けんは、えり汚れや泥んこ汚れがとてよく落ちると評判です。

作った廃油石けんは、1か月ほど乾かして完成します。

出来上がって地域みなさんに喜んで使っていただける日が楽しみです。



10/19
(木)

挿木講習

講師 福島 博 さん

しょう ばら Showバラの会

この日、福島博さんによる挿木講習会を行いました。ノイバラの採取から
始まり、続いて荘原コミセンに場所を移して採取したノイバラを挿木にし
ました。挿木を成功させることはなかなか難しいとのこと。皆さん福島さんの
言葉を熱心に聞いておられました。今回挿木にしたバラを台木として、来年
2月頃には、接ぎ木の講習会を行う予定です。

前回の夏剪定講習会で「Showバラの会」の皆さんに整えていただいた薔
薇が今見頃を迎えています。秋の青い空に映える薔薇をぜひ、ご覧ください。



@SHOWBARACC_OFFICIAL



荘原コミセン
公式Instagramでも
バラの情報発信中!

9/12 (火) 9/21 (木) 9/22 (金)

ふれあいサロン おいでませの会



みんなが幸せに生きることが できる社会をめざすために…

「おいでませの会」では、毎年、人権・同和教育研修を実施しています。

今年度も出雲市人権同和政策課の同和教育啓発指導員のみなさんに来ていただき、DVD「サラーマット」を視聴した後、外国人に対する偏見や差別意識を持っていた登場人物の心の変化を振り返りながら話をしていただきました。（「サラーマット」はフィリピン語で「ありがとう」の意味）

出雲市では、現在約4,500人の外国人の方が生活しておられます。外国人だからとか、文化や習慣が違うからと「壁」を作るのではなく、偏見を無くし、積極的に関わりをもつことが大切だということを教えていただきました。



10/10 (火) 10/19 (木) 10/27 (金)

元気パワーをいただきました!



毎年、かわいい園児さんと交流をしています。今年も荘原幼稚園、東部保育園の園児さんと交流をしました。

季節の歌と一緒に歌い、よさこい踊りに目を細め、じゃんけんで勝っても負けても笑い合い、楽しい時間を過ごしました。和やかな時間を過ごし、交流ができました。今年も子どもたちから元気パワーをたくさんもらいました。

10/17 (火)

地域小サロン

みんなで一緒に歌って元気に!

猛烈に暑い夏をみんなで元気に乗り越え、久しぶりに歌を歌いたいという「秋桜サロン」のみなさんの思いが届き、ギター演奏2人とヴォーカルの3人で活動をしておられる「ギタボラさん」(代表:錦織栄一さん)にきていただき、ギター演奏に合わせてみんなで一緒に歌をうたいました。（「紅葉」「村祭り」「みかんの花咲く丘」など全12曲）

「秋桜サロン」代表の伊藤幸治さんは「コロナ前には歌う機会も多かったけれど、コロナで歌うことはやめていたので、今日は久しぶりに声を出して歌うことができ嬉しかった」とおっしゃっていました。

歌がみなさんに元気に暮らす力を与えてくれたようです。



秋桜サロン

10/29
(日)

荘原・出東一斉クリーン大作戦

出雲市環境保全連合会荘原支部



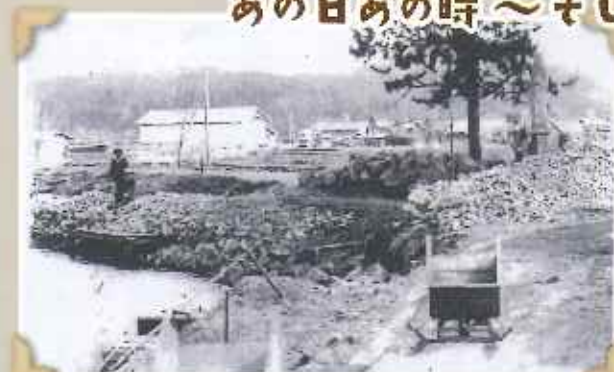
10月29日(日)朝の8時から、「荘原・出東一斉クリーン大作戦」を行いました。これは、出雲市が実施している「出雲市18万人ポイ捨て一掃大作戦」の活動として斐川東中校区の荘原・出東地区が行うもので、今年で10回目となります。

荘原の各地域にごみ集積場を設け、最終的にはそれらを荘原コミセンに集め、分別をしました。割れた瓶や、錆びた缶、たばこの吸い殻や、釣り具など、大小様々なごみが荘原地内に落ちていました。今回この活動に参加してくれた子どもたちが、「見て見て!こんなに拾ったよ!」と見せに来てくれたのですが……。それらのごみは、誰かが故意に捨てたものであることに憤りを禁じ得ません。今回集められたごみは、例年より少し少ない印象ではありましたが、このごみ拾い活動を続けていく中で、どんどんその量が減っていき、いつかごみ拾いの必要がない地域になることを願ってやみません。今回この活動に参加くださった皆様、誠にありがとうございました。



写真でたどる荘原 Vol.9

あの日あの時～そして現在



▲荘原村未曽有の大洪水後の旧船(地蔵橋付近) 昭和9年(1934)晩秋の頃



▲現在の地蔵橋付近



▲地蔵尊は昭和32、3年頃の地蔵橋(土橋)工事に伴い、上庄原の荘原寺境内に移転された



【右上】「地蔵尊(通称:おみよ地蔵)」(身の丈2m、台座合わせて約3m余)。蒸気船入港(廻り角)時の目印であった木の脇に佇む。

【左側】人影の後ろは船川土手。左右に昭和天皇即位御大典(昭和3年)記念植樹の桜の若木が見える。人影手前は蒸気船廻り角の川面(約40m)。桟橋は石材運搬用か。

【左奥】大きな建物は荘原駅前の「農業倉庫」。昭和8年秋に建築・落成。

【正面】地蔵尊の足元に多くの石材が積まれている。水害復旧用か。

荘原コミュニティセンター「まちづくり部」では、引き続き皆様から懐かしい荘原の写真などの歴史資料を募集しています。ご自宅に懐かしい写真などありましたら、荘原コミュニティセンターまでご持参ください。



年末年始の 利用について

荘原コミュニティセンター

12月29日(金)から1月3日(水)まで
一般業務、貸館業務はお休みします。

リサイクルステーション

12月30日(土)・31日(日)は
ご利用できません。

編集後記

荘原コミセンの事業はもちろん、地域の活動で大変お世話になりました伊藤幸治さんが亡くなりました。突然の訃報に今も信じられない気持ちです。

今回のセンター報にも掲載していますが、表紙を飾る荘原コミセン専門部ごども倶楽部の事業のさつまいも掘り、文化祭ではそのさつまいもを使い、伊藤さん自ら製作された焼き芋で焼いた美味しい焼いも販売、地域サロンの「秋桜サロン」の代表として地域を引っ張ってくださいました。また、荘原小学校の子どもたちとのあいご米づくり、羽根笛踊り、子どもの安全の見守り等々…挙げてみるときりがなく、感謝してもしきれません。本当に本当にありがとうございました。

伊藤さんは人のために地域のためになることなら「やらこーい」といつも返事はYES。いつも人のために皆の笑顔のために尽くされ、亡くなるその時までその思いと行動を貫き通されました。伊藤さんが地域のために尽くされたその意志を私たちが力を合わせて引き継いでいきたいものです。

伊藤さんどうしよう……?不安になった時、「いけぶっつあん、やらこーい」と私の背中を押してくださいのですね。

伊藤さん、安らかに眠ってください。(文責:陵)

ご寄付御礼

香典返し 金一封

曾田 剛文 様 中央東自治会

池淵 久美江 様 中本町自治会

穴道 年弘 様 湯の丘自治会

木村 義朗 様 (島瀬自治会)

飯塚 正 様 和泉町自治会

皆様からお寄せいただきましたお志は、荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。ご寄付は、地蔵橋(荘原コミュニティセンター)で受け付けております。